

2022年1月5日
 一般社団法人日本鉄鋼連盟
 標準化センター事務局

2021年度 第3回鋼材規格三者委員会 議事録

1. 日時： 2021年12月22日（水）13:30～15:20
2. 場所： 鉄鋼会館第2会議室+Web会議
3. 出席者：（敬称略）
 （委員長）榎 委員長（東京大学教授）
 （副委員長）緒形（物質・材料研究機構）、田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）、
 藤原（EMF 応用計測）
 （委員）相川（日本水道協会）、伊藤（叡）（ISO TC156国内対応委員会委員長）、
 岩田（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、加藤（日本金属継手協会）、
 熊井（日本検査キューエイ）、栗原（日本伸銅協会）、桑原（東京農工大学）、
 後藤（大同特殊鋼）、桜井（日本鋼構造協会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、
 下津佐（神戸製鋼所）、高木（三菱マテリアル）、竹内（東京工業大学）、田上（IHI）、
 堤（日本規格協会）、中澤（JFEスチール）、林（元国立研究開発法人理化学研究所）、
 富士原^代藤井（日本試験機工業会）、松本（和）（日本海事協会）、
 松本（聡）（日本製鉄）、山口（九州工業大学） （委員長・副委員長・委員計26名）
 （関係者）伊藤（実）（経済産業省） （関係者計1名）
 （幹事）石川（日本鉄鋼連盟）
 （事務局）寺澤、阿部、井田、越川、坂橋、楠野、玉田、山本（日本鉄鋼連盟） （事務局計8名）

4. 議題と配布資料

1) 報告

- 資料0 2021年度 第1・2回鋼材規格三者委員会議事録
 資料1-1 第29回金属・無機材料技術専門委員会議事録（案）
 資料1-2 鋼材 JIS の注文時の情報に関する規定について
 （口頭説明） 経過報告書の内容審議について

2) 改正 審議

- | | | |
|-------------|------------|--------------------------------------|
| 資料2及びコメント回答 | JIS G 3120 | 圧力容器用調質型マンガンモリブデン鋼及びマンガンモリブデンニッケル鋼鋼板 |
| 資料3及びコメント回答 | JIS G 4401 | 炭素工具鋼鋼材 |
| 資料4及びコメント回答 | JIS G 4403 | 高速度工具鋼鋼材 |
| 資料5及びコメント回答 | JIS G 4404 | 合金工具鋼鋼材 |
| 資料6及びコメント回答 | JIS G 3446 | 機械構造用ステンレス鋼鋼管 |
| 資料7及びコメント回答 | JIS G 3447 | ステンレス鋼サニタリー管 |
| 資料8及びコメント回答 | JIS G 3448 | 一般配管用ステンレス鋼鋼管 |
| 資料9及びコメント回答 | JIS G 3460 | 低温配管用鋼管 |

資料 10 及びコメント回答 JIS Z 2249	コニカルカップ試験方法
資料 11 及びコメント回答 JIS G 0582	鋼管の自動超音波探傷検査方法
資料 12 及びコメント回答 JIS G 0584	アーク溶接鋼管の超音波探傷検査方法
資料 13 及びコメント回答 JIS G 0320	鋼材の溶鋼分析方法

3) 追補改正 審議

資料 14 及びコメント回答 JIS G 0416	鋼及び鋼製品—機械試験用供試材及び試験片の採取位置並びに調製（追補 1）
資料 15 及びコメント回答 JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材（追補 1）
資料 16 及びコメント回答 JIS G 3106	溶接構造用圧延鋼材（追補 1）

4) 定期見直し計画リストの審議

資料 17 2022 年度 定期見直し計画リストについて

5) その他

5. 議事内容及び結果

交代委員の紹介と自己紹介、榎委員長のご挨拶の後、以下の議事が進められた。

5.1 幹事から前回議事録が報告された。

前回議事録は、会議後に既に承認されており、特にコメントはなかった。

5.2 寺澤事務局長から、以下 3 件について報告された。

- 1) 第 29 回の金属・無機材料技術専門委員会
- 2) 鋼材 JIS の注文時の情報に関する規定について
- 3) 経過報告書の内容審議について

既に提出した経過報告書に誤りがあったため、再審議を書面で行うことの説明があった。

5.3 審議案件の改正案 12 件、追補改正案 3 件について鉄鋼連盟の事務局より内容が説明され、以下の質疑応答があった。

- 1) JIS G 4403 に関して、種類の記号の一部廃止は、問題がないか質問され、問題がないことを確認済であると回答された。
- 2) JIS G 3447 に関して、製造方法は新たな規定追加なのか質問され、従来、本文記載していた内容を表中に記載したと回答された。
- 3) JIS G 3460 に関して、水圧代替法と非破壊試験法との筒条分割を進めるのか質問され、その方向であると回答された。

上記の他、原案修正点は、規格ごとのコメントテンプレートに記載されたとおり、修正することとし、いずれも承認された。

5.4 事務局から定期見直し計画リストが説明され、異議なく承認された。

5.5 その他

- 1) 幹事から 2022 年度の鋼材規格三者委員会を今年度と同様に 7 月及び 12 月に開催を計画し、日程調整することが説明された（会議形態未定）。
- 2) 幹事から、委員委嘱に関して、2022 年は、2 年ごとの再委嘱時期となるため、事務局から委員各位に確認させていただくことを予告した。

以上

2021年度第4回鋼材規格三者委員会（書面審議）議事録

1. 日時： 2022年1月25日（火）～2月4日（金）

2. 場所： 書面審議

3. 出席者：（敬称略）

（委員長）榎 委員長（東京大学）

（副委員長）緒形 副委員長（物質・材料研究機構）、田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）

藤原 副委員長（EMF応用計測）

（委員）相川（日本水道協会）、伊藤（ISO/TC 156国内対応委員会委員長）、岩田（建築研究所）、
小野（日本分析化学会）、小野田（日鉄SGワイヤ）、加藤（日本金属継手協会）、
熊井（日本検査キューエイ）、栗原（日本伸銅協会）、桑原（東京農工大学）、
後藤（大同特殊鋼）、近藤（日本自動車工業会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、
桜井（日本鋼構造協会）、下津佐（神戸製鋼所）、高木（三菱マテリアル）、
竹内（東京工業大学）、田之上（IHI）、堤（日本規格協会）、
戸上（日本アルミニウム協会）、富山（土木研究所）、中澤（JFE スチール）、
林（元理化学研究所）、富士原（日本試験機工業会）、松本（和）（日本海事協会）、
松本（聡）（日本製鉄）、山口（九州工業大学）

（委員長・副委員長・委員計 30名）

（関係者）伊藤・大竹（経済産業省）、中田・檜原（国土交通省）

（関係者計 4名）

（幹事）石川（日本鉄鋼連盟）

（事務局）寺澤、阿部、井田、楠野、玉田、山本、越川（日本鉄鋼連盟）

（事務局計 7名）

4. 議題と配布資料

下記の規格が、国家標準としての基準を満たしているかの審議。

JIS G 1216-1	鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第1部：ジメチルグリオキシムニッケル重量法	（資料1）
JIS G 1216-2	鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第2部：ジメチルグリオキシム沈殿分離 エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム・亜鉛逆滴定法	（資料2）
JIS G 1216-3	鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第3部：ジメチルグリオキシム吸光光度法	（資料3）
JIS A 5526	H形鋼ぐい	（資料4）
JIS G 3114	溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材	（資料5）
JIS G 3136	建築構造用圧延鋼材	（資料6）
JIS G 3115	圧力容器用鋼板	（資料7）
JIS G 3124	中・常温圧力容器用高強度鋼鋼板	（資料8）
JIS G 3303	ぶりき及びぶりき原板	（資料9）
JIS G 3315	ティンフリースチール	（資料10）
JIS G 3191	熱間圧延棒鋼及びバーインコイルの形状、寸法、質量及びその許容差	（資料11）

JIS G 4107	高温用合金鋼ボルト材	(資料12)
JIS G 4108	特殊用途合金鋼ボルト用棒鋼	(資料13)
JIS G 3429	高圧ガス容器用継目無鋼管	(資料14)
JIS G 3472	自動車構造用電気抵抗溶接炭素鋼鋼管	(資料15)
JIS G 3473	シリンダチューブ用炭素鋼鋼管	(資料16)
<第2回2021年9月8日書面審議案件>		
JIS G 0551	鋼－結晶粒度の顕微鏡試験方法	(資料17)
JIS G 1201	鉄及び鋼－分析方法通則	(資料18)
JIS Z 2246	ショア硬さ試験－試験方法	(資料19)
JIS Z 2247	エリクセン試験方法	(資料20)
JIS Z 2248	金属材料曲げ試験方法	(資料21)
<第3回2021年12月22日審議案件>		
JIS G 3120	圧力容器用調質型マンガンモリブデン鋼及びマンガンモリブデンニッケル鋼鋼板	(資料22)
JIS G 4401	炭素工具鋼鋼材	(資料23)
JIS G 4403	高速度工具鋼鋼材	(資料24)
JIS G 4404	合金工具鋼鋼材	(資料25)
JIS G 3446	機械構造用ステンレス鋼鋼管	(資料26)
JIS G 3447	ステンレス鋼サニタリー管	(資料27)
JIS G 3448	一般配管用ステンレス鋼鋼管	(資料28)
JIS G 3460	低温配管用鋼管	(資料29)
JIS Z 2249	ユニカルカップ試験方法	(資料30)
JIS G 0582	鋼管の自動超音波探傷検査方法	(資料31)
JIS G 0584	アーク溶接鋼管の超音波探傷検査方法	(資料32)
JIS G 0320	鋼材の溶鋼分析方法	(資料33)
JIS G 0416	鋼及び鋼製品－機械試験用供試材及び試験片の採取位置並びに調製（追補1）	(資料34)
JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材（追補1）	(資料35)
JIS G 3106	溶接構造用圧延鋼材（追補1）	(資料36)

5. 決議年月日

2022年2月7日（月）

2021年度第5回鋼材規格三者委員会（書面審議）議事録

1. 日時： 2022年2月24日（木）～3月17日（木）
2. 場所： 書面審議
3. 出席者：（敬称略）
（委員長）榎 委員長（東京大学）
（副委員長）緒形 副委員長（物質・材料研究機構）、田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）
藤原 副委員長（EMF応用計測）
（委員）相川（日本水道協会）、伊藤（ISO/TC 156国内対応委員会委員長）、岩田（建築研究所）、
小野（日本分析化学会）、小野田（日鉄SGワイヤ）、加藤（日本金属継手協会）、
後藤（大同特殊鋼）、熊井（日本検査キューエイ）、栗原（日本伸銅協会）、
桑原（東京農工大学）、近藤（日本自動車工業会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、
下津佐（神戸製鋼所）、高木（三菱マテリアル）、竹内（東京工業大学）、
田之上（IHI）、堤（日本規格協会）、戸上（日本アルミニウム協会）、富山（土木研究所）、
中澤（JFE スチール）、桜井（日本鋼構造協会）、林（元理化学研究所）、
富士原（日本試験機工業会）、松本（和）（日本海事協会）、松本（聡）（日本製鉄）、
山口（九州工業大学）（委員長・副委員長・委員計30名）
（関係者）伊藤・大竹（経済産業省）、中田・檜原（国土交通省）（関係者計4名）
（幹事）石川（日本鉄鋼連盟）
（事務局）寺澤、阿部、井田、木村、楠野、玉田、山本、越川（日本鉄鋼連盟）（事務局計8名）

4. 議題と配布資料

下記の規格改正のための JIS 案の審議。

JIS Z 2241（金属材料引張試験方法）（資料 5-1）

5. 決議年月日

2022年3月18日（金）

6. 結果

委員30名による書面審議の結果、いずれの審議案件も下記の表に示すように賛成票30、反対票0で承認された。

審議事項	資料番号	賛成	反対	結果
JIS Z 2241（金属材料引張試験方法）	5-1	30	0	承認

コメントと対応は、別添のとおり。

以上

2022年度 第1回鋼材規格三者委員会（書面審議） 議事録

1. 日 時： 2022年5月27日（金）～6月24日（金）

2. 場 所： 書面審議

3. 出席者：（敬称略）

（委員長）榎 委員長（東京大学）

（副委員長）緒形 副委員長（物質・材料研究機構）、田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）

藤原 副委員長（EMF応用計測）

（委員）相川（日本水道協会）、藤田（北海道大学）、沖（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、
小野田（日鉄SGワイヤ）、加藤（日本金属継手協会）、後藤（大同特殊鋼）、
熊井（日本検査キューエイ）、栗原（日本伸銅協会）、桑原（東京農工大学）、
近藤（日本自動車工業会）、種物谷（高压ガス保安協会）、酒井（神戸製鋼所）、
河口（不二越）、山田（東京大学）、富永（三菱重工業）、堤（日本規格協会）、
戸上（日本アルミニウム協会）、富山（土木研究所）、中澤（JFEスチール）、
桜井（日本鋼構造協会）、林（元理化学研究所）、藤井（日本試験機工業会）、
松本（和）（日本海事協会）、松本（聡）（日本製鉄）、山口（九州工業大学）

（委員長・副委員長・委員計 30名）

（関係者）伊藤・大竹（経済産業省）、甲斐・檜原（国土交通省）

（関係者計 4名）

（幹事）石川（日本鉄鋼連盟）

（事務局）寺澤、阿部、井田、楠野、玉田、山本、越川（日本鉄鋼連盟）

（事務局計 7名）

4. 議題と配布資料

下記の規格制改廃のための JIS 案の審議。

<制定>

JIS G 1228-1（鉄及び鋼－窒素定量方法

－第1部：アンモニア蒸留分離アミド硫酸滴定法）

（資料 1）

JIS G 1228-2（鉄及び鋼－窒素定量方法

－第2部：アンモニア蒸留分離吸光光度法）

（資料 2）

JIS G 1228-3（鉄及び鋼－窒素定量方法

－第3部：不活性ガス融解－熱伝導度法）

（資料 3）

<改正（追補）>

JIS Z 2248（金属材料曲げ試験方法）

（資料 4）

JIS Z 2253 (薄板金属材料の加工硬化指数試験方法)

(資料 5)

<廃止>

JIS G 1228 (鉄及び鋼—窒素定量方法)

(資料 6)

5. 決議年月日

2022年6月27日(月)

6. 結果

委員30名による書面審議の結果、いずれの審議案件も下記の表に示すように賛成票30、反対票0で承認された。

審議事項	資料 番号	賛成	反対	結果
JIS G 1228-1 (鉄及び鋼—窒素定量方法 —第1部: アンモニア蒸留分離アミド硫酸滴定法)	1	30	0	承認
JIS G 1228-2 (鉄及び鋼—窒素定量方法 —第2部: アンモニア蒸留分離吸光光度法)	2	30	0	承認
JIS G 1228-3 (鉄及び鋼—窒素定量方法 —第3部: 不活性ガス融解—熱伝導度法)	3	30	0	承認
JIS Z 2248 (金属材料曲げ試験方法)	4	30	0	承認
JIS Z 2253 (薄板金属材料の加工硬化指数試験方法)	5	30	0	承認
JIS G 1228 (鉄及び鋼—窒素定量方法)	6	30	0	承認

各案件に対するコメントと対応は、別添のとおり。

以上